

発達障害等相談センター運営事業

＜内容＞

発達障害児・者等に対する専門職（社会福祉士、臨床心理士、精神保健福祉士、保健師等）による身近な相談窓口を設置（令和元年度から特定非営利活動法人メンタルヘルス研究会（現・特定非営利活動法人そらいろ） に業務委託）

＜実績＞

内容		令和元年度	令和2年度
1. 発達、生活相談 (相談件数)	相談実件数	782 件	685 件
	相談延べ件数	2034 件	2223 件
2. 保護者サポート	保護者グループ 自助グループ	実施 33 回 参加者延 105 人	実施 30 回 参加者延 82 人
	ペアレントトレーニング	実施回数 12 回 参加者延 51 人	実施回数 5 回 参加者延 8 人
3. 支援者育成	スーパーヴァイズ	13 件	14 件
	講師派遣	講師派遣 10 件 参加者延 300 人	講師派遣 12 件 参加者延 289 人
4. 普及、啓発	講演会 研修会	講演会 1 回開催 参加者 260 人 研修会 4 回開催 参加者延 81 人	講演会 1 回開催 参加者 100 人 研修会 6 回開催 参加者延 105 人
5. 関係機関との連携	関係機関の会議	10 機関 延 40 回	8 機関 延 26 回
6. なんでも相談	相談実件数	22 件	3 件
	相談延べ件数	104 件	79 件

＜評価＞

・令和元年度と比較し、相談実件数は約 87.6%と 1 割程度減少、延べ件数は約 109.2%と 1 割程度増加している。相談対象者の年齢内訳では、学童期、30 代の相談が多かった。相談内容としては、日常生活の相談をはじめ、就労や不登校、進学や虐待など、多岐に渡る相談に応じており、関係機関から担当ケースについて発達障害に関する対応への相談が増えている。相談に対して、臨床心理士等による心理・発達検査等の実施や適切な評価、発達に応じた療育や教育及び支援の方法について助言を行っている。また、必要に応じて関係機関への紹介及び連絡調整を行っている。

・保護者グループ、自助グループのサポートを実施し、お互いの悩みや不安を軽減し、支え合う場として活動が継続されている。平成 30 年度は、ペアレントトレーニングをセンター以外に、放課後等デイサービス事業所にて実施。令和元年度は、ペアレントトレーニングの視点を日頃の保護者支援に活かしてもらうために支援者向けの研修会として、ファミリーサポートセンターや保育園等で実施し、保護者サポートの拡大強化につなげた。令和 2 年度は、支援者向けの講座をウェブで開催。

・地域や各種団体・関係機関からの講師依頼への対応や講演会の実施、関係機関の会議参加による支援者育成・情報提供、スーパー・市役所・大学等での啓発用ティッシュやリー

フレットの配布を行い、普及啓発及びネットワークの構築に努めている。

- ・「宇部市発達障害児を支えるネットワーク協議会」の一員として、「パーソナル手帳」「発達障害とともに生きていくためのサポートブック」「発達障害啓発週間啓発リーフレット」の普及に努めている。

＜今後の具体的な取り組み＞

今後も発達・生活相談や保護者サポートの充実を図り、支援者育成・関係機関との連携強化を行い、発達障害への理解促進・普及啓発の強化に取り組む。

また、コロナ禍においても、ウェブ等の活用をして、講座や講演会等を開催する予定。前年度、コロナ禍の影響を受け、申し込みが少なくなっていた保育園・幼稚園にむけた講座をウェブ開催し、より多くの園からの参加を促していく。